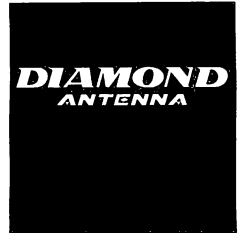
電動基台
MOTOR DRIVE MOUNT
K9000

専用マウント基台　KTH/KRS/KRR

取扱説明書

この取扱説明書は、基台本体と各マウント金具の取扱い方法の説明をしています。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときに読めるようにこの取扱説明書は、大切に保管してください。

このアンテナ取付基台は、無線用アンテナを指定された場所に固定するためのものです。指定以外のアンテナや指定以外の場所に取付けたり、他の用途に用いて事故が発生した場合には責任を負いかねます。

●安全上のご注意

「⚠警告」の欄は、誤った取扱をした時に、死亡や重傷など致命的な結果に結びつく可能性が大きいものをまとめたものです。
「⚠注意」の欄は、情況によって傷害を受けたり、物的傷害の発生が想定されるものをまとめたものです。

⚠ 警告

- 運転中に操作しないでください。事故の原因となります。
- 指定された長さ・重量以上の大型アンテナを取り付けて走行しないでください。基台が破損して事故の原因となります。
- 基台やアンテナが車の幅・全長を超えない、人体に触れにくいところに取付けてください。事故の原因となります。
- 倒したアンテナの先端が車の幅・全長を超えないようにしてください。事故の原因となります。

⚠ 注意

事故を防ぐために、以下の注意事項をお守りください。

- アンテナを倒したまま走行しないでください。アンテナが揺れて車体に接触して傷がつくことがあります。
- ネジ・ビス類は振動などで緩むことがあります。お使いになる前に確認しゆるんでいるようなら締めなおしてください。
- 強い衝撃を受けると破損したアンテナや基台が落下して大変危険です。走行のときは、枝などの障害物に十分注意してください。
- ディーゼル車などの激しい振動により、アンテナが破損することがあります。できるだけ振動の少ないところを選んで基台を取付けてください。
- 送信中のアンテナに触ると感電することがあります。停車中に運用するときは、アンテナの近くに人がいないことを確認してください。
- 運転の支障にならないように、電源コードや同軸ケーブルを配線してください。
- アンテナや基台、同軸ケーブルを車の他の配線や端子ボックスの近くに取り付けないでください。接触して火災、感電の原因となります。

基台の故障を防ぐために、次の注意事項をお守りください。

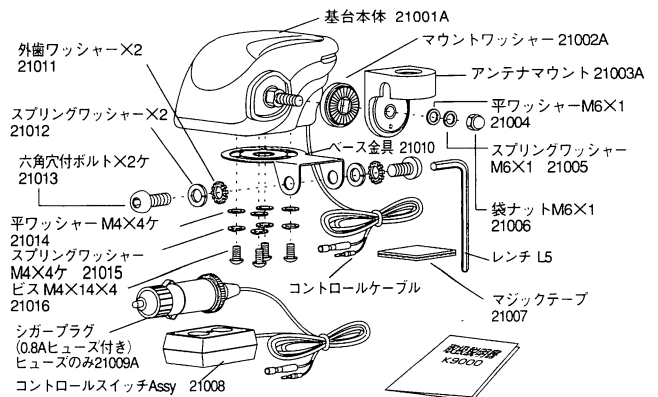
- この基台は電圧12Vの車両用に設計されています。他の電圧の車両では使用しないでください。モーターが破損したり、動作しないことがあります。12V以外の車両でお使いになる場合には、別売のDC―DCコンバーター等をご利用ください。
- 基台が雪などで凍結しているときには動作させないでください。モーターが破損したりヒューズが切れることがあります。
- 動作中にアンテナが障害物に触れたらすぐに停止してください。モーターが破損したりヒューズが切れることがあります。

＊この基台はマイナス接地車用に設計されています。プラス接地車でお使いになると操作が逆になり、ランプが点灯しなくなります。この場合にはスイッチボックス内の基板に配線されているシガープラグからの電源コードを逆に接続してください。

●特長

- スプリング式バックトルクリミッターとギア破損防止クラッチの採用により、アンテナがガタつかず、車や基台を保護します。
- 調整ノブ式の角度アジャスト機構が付いていますので、アンテナを倒す角度を45°～90°の範囲を7段階であわせることができます。
- シガープラグ付きなので、わずらわしい配線作業が不要です。
- 基台本体とベース金具を二分割にしていますので、基台の取付け角度を自由に設定することができます。

●部品確認

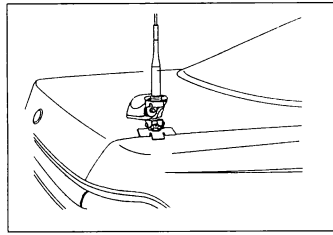
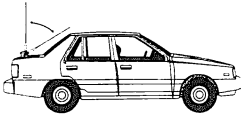
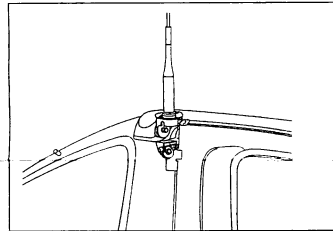
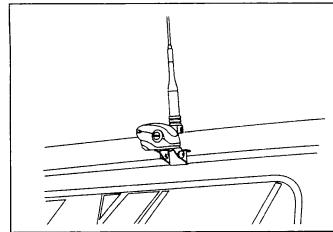
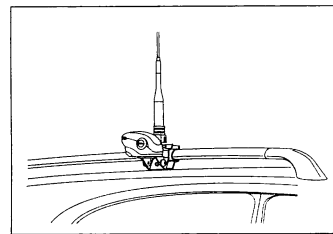
部品が全部揃っていることを確認してください。基台の一部が破損した場合は、図中の補修部品番号で販売店にお申付けください。

●動作説明

コントロールスイッチを押すことにより、アンテナを立ち上げたり倒すことができます。また、基台本体にはリミットスイッチが内蔵していますので、スイッチを押したままでも自動的に停止します。スイッチを押すと立ち上げ時は緑のランプが点灯し、倒すときには赤のランプが点灯します。

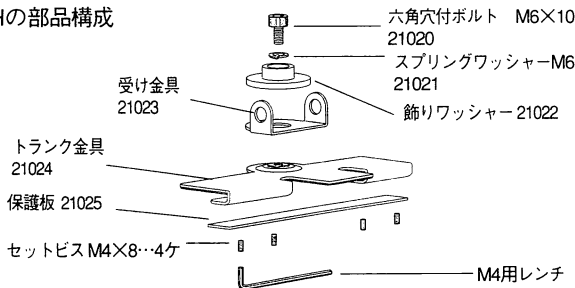
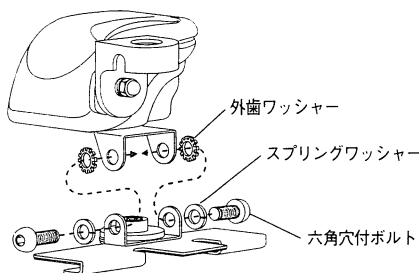
●オプション（別売品）

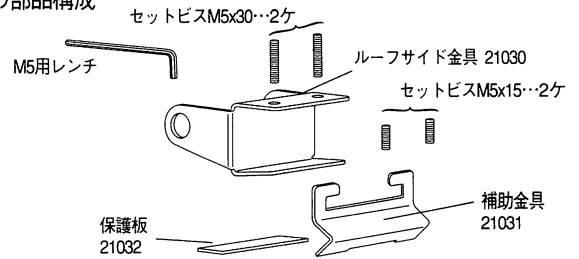
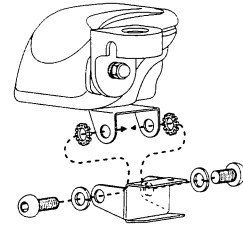
基台を車体に取付ける場合には、別売の専用マウント金具と同軸ケーブルセットが必要です。取付け場所にあわせてお選びください。

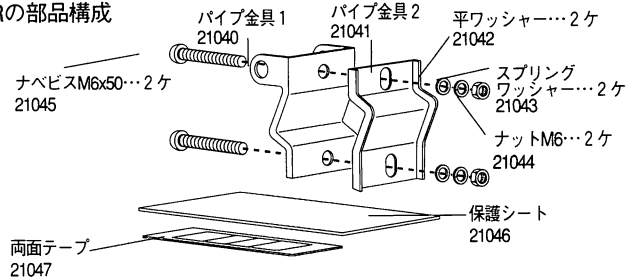
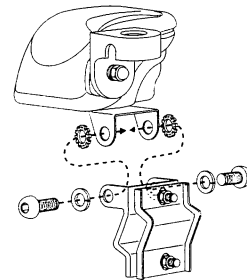
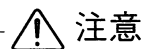
❶ KTH（トランク／ハッチバック用）取付例

トランク取付例

ハッチバック取付例

❷ KRS（ルーフサイド用）取付け例

❸ KRR（ルーフレール／キャリヤパイプ用）取付例

●各種マウント金具の部品構成と基台本体への取付方法

❶ トランク／ハッチバック用マウント金具

KTHの部品構成

KTHの取付方法

❷ ルーフサイド用マウント金具

KRSの部品構成

KRSの取付方法

❸ ルーフレール／キャリヤパイプ用マウント金具

KRRの部品構成

KRRの取付方法

●車体への取付方法

⚠ 注意

＊この基台に採用されているスプリング式バックトルクリミッターは、アンテナを立ち上げてリミットスイッチが動作した状態のときだけに動作し、ギヤのバックラッシュをなくす構造になっています。したがって、アップとダウンの位置を逆にして取付けることは出来ません。アンテナを前後逆方向に倒す場合には、基台本体の向きを変えてください。

＊基台を固定した塗装面は、直射日光が当たらないため、他の部分と色合いが異なってくることがあります。当社基台の一部に付属されているキズ防止用ゴムシートは非汚染性ですので、このゴムシートが原因で塗装面が変色することはありません。

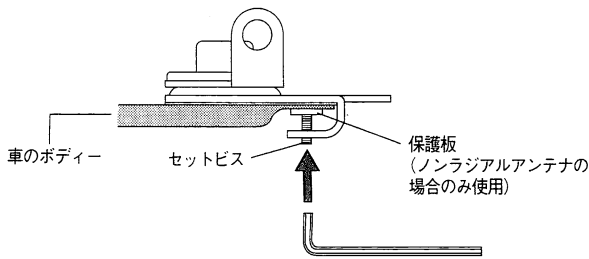
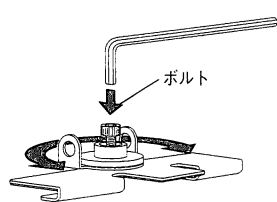
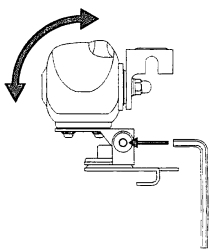
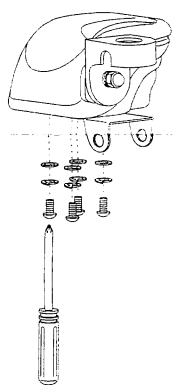
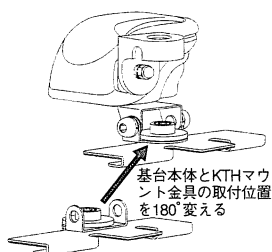
・ノンラジアルアンテナ以外のアンテナをご使用になる場合には、マウント金具が電気的に直接車体に接触するようにしてください。マウント金具と車体が絶縁しているとSWRが下がらないことがあります。

・基台を取り付けたところからサビが発生することがありますので、あらかじめ塗装のはがれたところにサビ止めを塗っておいてください。

・電源コードや同軸ケーブルを車内に引き込んだところから水が浸入することがありますので、注意してください。

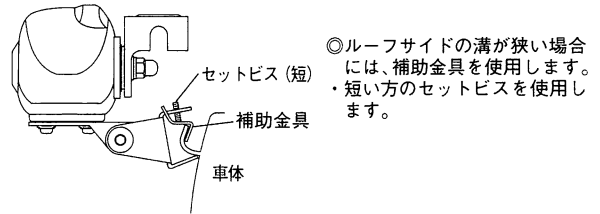
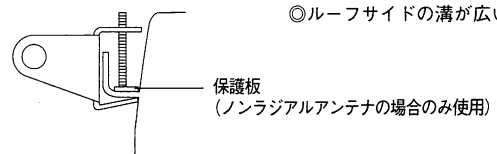
❶ トランク／ハッチバック（KTHマウント金具）

取付方法

・トランクやハッチバックの開閉に支障のない場所を選んでください。
・ノンラジアルアンテナをお使いの場合は、セットビスによるキズを防止するため付属の保護板をお使いください。ノンラジアル以外のアンテナを使う場合は、保護板を使わず基台とボディーを完全に導通させてください。

・ハッチバック車の場合には次の方法で基台の角度調整を行ないます。

①KTHマウント金具上面についているボルトを緩めて横に回します。

②基台本体を起こして基台が水平になるようにしてください。

③基台本体底面のビスを緩め、基台本体を横に回転させてアンテナの倒れる方向を調整します。また、50度以上回転させる場合には、基台本体とベース金具を一度取り外して向きを変えてください。

＊基台が車体等に接触して角度調整が出来ない場合には、基台本体とKTHマウント金具の取付けを180度変えてください。

❷ ルーフサイド（KRSマウント金具）

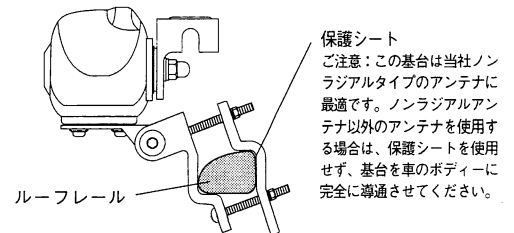
取付方法

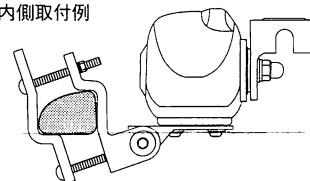
・ノンラジアルアンテナをお使いの場合は、セットビスによるキズを防止するため付属の保護板をお使いください。ノンラジアル以外のアンテナを使う場合は、保護板を使わず基台とボディーを完全に導通させてください。

◎ルーフサイドの溝が狭い場合には、補助金具を使用します。
・短い方のセットビスを使用します。

◎ルーフサイドの溝が広い場合

❸ ルーフレール／キャリヤパイプ（KRRマウント金具）

取付方法

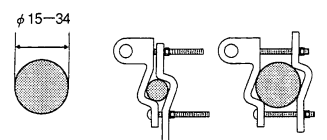
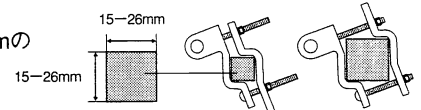
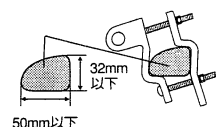
・ノンラジアルアンテナをお使いの場合は、キズを防止をするため付属の保護シートをお使いください。ノンラジアル以外のアンテナを使う場合は、マウント基台とボディーを完全に導通させてください。

◎ルーフレールの外側取付例

保護シート
ご注意：この基台は当社ノンラジアルタイプのアンテナに最適です。ノンラジアルアンテナ以外のアンテナを使用する場合は、保護シートを使用せず、基台を車のボディーに完全に導通させてください。

◎ルーフレールの内側取付例

・KRRマウント金具はルーフレール以外に丸パイプや四角材にも取付けることが出来ます。

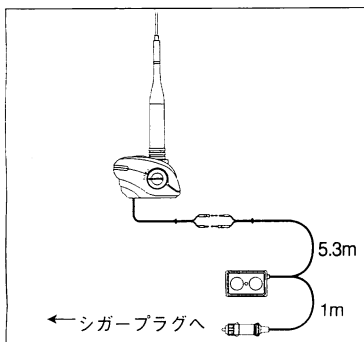
※取付可能パイプおよびルーフレールの寸法

金具の調整でいろいろなタイプのパイプやルーフレールに取付可能です。

①φ15―34の丸パイプ　φ15―34

②一辺が15―26mmの角パイプ　15―26mm　15―26mm

③断面の高さ32mm以下、幅50mm以下のルーフレール

●電源コード配線

⚠ 注意

・電源コードは両方ともプラスの電圧がかかります。配線のときには電源コードに無理な力が加わったり、挟まれて被覆が破れるとショートしてヒューズが破損することがあります。

❶ コントロールBOXのコネクタと基台本体のコネクタを接続します。

●同軸ケーブル配線

⚠ 注意

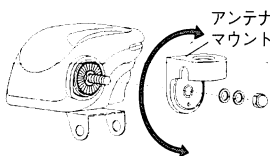
・ケーブルに無理な力が掛からないように注意して配線してください。

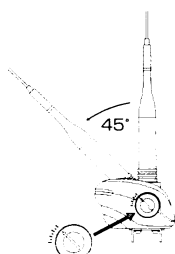
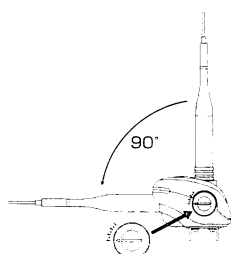
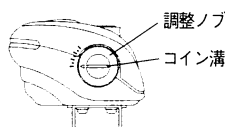
●動作角度調整

⚠ 注意

・角度調整を行なうときは、必ずアンテナを立ち上げた状態で行なってください。倒したまま調整ノブを回すとリミットスイッチが破損することがあります。
＊出荷時の調整ノブの動作角度は45°に設定してあります。

❶ コントロールスイッチを操作して立ち上がった状態にセットします。

❷ アンテナマウントのナットをゆるめ、アンテナが垂直に立つ位置にセットします。

❸ 調整ノブのコイン溝にコインを入れ、希望の倒し角度に目盛をセットします。

調整ノブ
コイン溝

・調整後はネジをしっかりと締め付けてください。

●ギア破損防止クラッチについて

アンテナに無理な力が掛ると、基台を保護するためのギア破損防止クラッチが動作します。このクラッチは、アンテナマウントと基台本体のそれぞれに付いている放射状の溝が空転する構造になっています。ギア破損防止クラッチが動作した場合にはアンテナが倒れたままになりますので、もう一度アンテナマウントのナットを緩めてアンテナが垂直に立つ位置にセットし直してください。

⚠ 注意

ギア破損防止クラッチは何度も動作させると溝が磨耗して倒れ易くなります。この場合には、次の部品を新しい物に交換してください。(有償)

部品名	部品番号	数
マウントワッシャー	21002A	1個
アンテナマウント	21003A	1個

●仕様

取付可能アンテナ長	1.4m以下
取付可能アンテナ重量	350g以下
動作電圧	13.8V（10～16V）
動作電流	0.4A以下
動作時間	約4秒（0～90°）
動作角度	45～90度
重量	0.44Kg （マウント金具を含まない）
大きさ（基台本体のみ）	64W×66H×102D(mm)
ヒューズ容量	0.8A

指定された0.8アンペア以外のヒューズは絶対に使用しないでください。基台が破損することがあります。

■お買い求めいただきました製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら販売店にお申しつけください。
■この製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2007年2月　第4版発行

製品についてのお問い合わせは、第一電波工業株式会社　〒350-0022 埼玉県川越市小中居445-1　TEL 049-230-1220(代) までどうぞ。